

子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）で寄せられた主な意見

テーマ：子どもの居場所づくり

（２０２６年７月４日開催分）

意見要旨
上五こもれば公園のような乳幼児でも安心して遊べるウッドチップを使用した公園がほしい。
夏休みの小学校の空きスペース等を活用し、日曜日乳幼児親子開放事業を実施するなど、長期休み中の乳幼児の居場所がほしい。
公園が大変込み合っている。年長の子どもたちと乳幼児が混在して危険な場面もある。
０歳から１歳までのイベントは充実しているが、１～２歳については交流の場が少ない。
道が狭くベビーカーが通りにくい。中野駅新北口駅広場の整備にあわせて、ベビーカーでも安心して通行できるようにしてほしい
子育て支援に関してLINEやInstagramなどをSNSを活用し、わかりやすい情報発信をしてほしい。 また、子ども向けのイベント情報がまとめて確認できるといい。
病児保育のできる施設を増やしてほしい。
じゃぶじゃぶ池周辺に蚊が大量に発生しているため、防虫対策を実施してほしい。
土日にも、児童館等で子どもたちが参加できるプログラムの充実を図ってほしい。

一時預かり保育の予約が取りづらく、利用する条件も厳しいため必要なときに利用できない。予約不要で親子が気軽に過ごせる場所を整備してほしい。
産後ショートステイは非常に良い制度ですが、予約が取りづらく、十分に利用できなかった。また、1歳以上の子どもを連れていても、保護者がリラックスして過ごせる場所の整備をしてほしい。
ティーンズ会議・若者会議のような意見表明のプロセスや主体的なチャレンジ活動・つながりづくりの機会創出について、小学校低学年や未就学児向け向けのプログラムを設けてほしい。
ベビーシッター利用支援事業について、多子世帯に対する支援をより充実してほしい。
山手通りの歩行者スペースについては、保育園等の通園・降園時間帯は歩行者が集中することから、安全確保に向けて、歩行者スペースをさらに左右に区分し、進行方向が交錯しないような配慮をしてほしい。
保育園によって、きょうだいの体調不良時の対応や育児休業中の保育利用時間の取扱いに差があるため、運営ルールを統一してほしい。
子ども食堂の開催場所を確保してほしい。
公園ではボール遊びが禁止されていることがあるが、自由に遊べるようにルールを変えてほしい。
本庁舎において、屋上テラスの活用や遊具の設置などにより、子どもの居場所の充実を図ってほしい。
夏場は猛暑により、子どもの外出が難しい。有料でもいいので、ボールプール、トランポリンなどで遊べる室内型の遊び場をつくってほしい。
杉並区のイマジナスのような、子どもが学習するための施設をつくってほしい。
異なる年代の子どもたちが関わりを持ち、地域の中でつながりを築けるようなきっかけづくりを進めてほしい。
子どもによる中野じまんのコンテストなど、子どもに中野のことを知ってもらう機会をつくってほしい。
乳幼児連れの保護者が日常的に利用でき、ベビーカーでも入りやすく、食事ができる場所を充実してほしい。
子ども服・靴の買える店やフードコート、ミニシアターなど、ファミリー層向けの商業施設がほしい。
小学生・中学生が安全に自転車を走行することのできる安全な道路をつくってほしい。
区役所1階のカフェのように赤ちゃん歓迎の看板があるお店が増えてほしい。